



市埋蔵文化財センター

☎ 23-8020

⑧

**どきどき
たいむとらべらー**

キョートな土製品

「これは何の動物をまねして作ったものでしょうか？」
「ブター!」「イノシシ!」「アルマジロ!」

お客さんとの間で、決まって
交わされる会話です。場所は展
示室の一角にある、動物形土製
品の前。

残念ながら、ブタでもイノシ
シでも、ましてやアルマジロで
はありません。この子は「クマ」
なんです!

このクマ形土製品は、平成8
年度の上杉沢遺跡発掘調査の際
に出土しました。岩手県の有形



とってもかわいい「クマ形土製品」

文化財にも指定されている国内最
大級のクマ形土製品です。中は空
洞で、丸型の耳と指を表現した刻
みが入った足を持っています。
お尻を底部として作られており、
座った状態でも四本足で立った状
態のどちらでも安定します。
そして、何より特徴的なのは胸
に輝く「月の輪」の文様。この文
様が入っていることで、この土製
品が「ツキノワグマ」を模して作
られたということがわかります。
このような動物形土製品は、
色々な場所で出土しているそう
で、上杉沢と同じクマのほか、イ
ノシシ、サル、ヘビなどに似たも
のが発見されています。
動物形土製品は、豊猟を祈るた
めの祭祀（儀式）の際に使われて
いた道具と考えられ、当時の人々
の信仰や狩猟との関わりを解明す
る上で、とても重要な資料となっ
ています。

こみゅにTeaたいむ

17杯目

自分たちのまちは自分たちで守る

近年、全国的に大きな地震や集中豪雨などの自然災害が多数発生しています。岩手県では、今年6月14日に発生した「岩手・宮城内陸地震」、7月24日の岩手県沿岸北部を震源とする地震と震度6を超える大規模な地震がたて続けに発生し、大きな被害をもたらしました。

大規模な災害が発生した直後は、防災機関だけではどうしても対応に限界があり、特に



いざという時対処できる準備を

発生直後の段階では、地域住民がお互いに助け合い「自らのまちは自ら守る」という意識と行動が重要となります。

そこで、過去に発生した災害での教訓や、地域防災組織の活動事例について学び、今後の地域防災の対策に役立てるきっかけとするため、以下のとおり二戸市地域づくりリーダー研修会を開催します。

災害が起こった時、どうすれば自分の地域や命を守れるか一緒に考えてみませんか。

【二戸市地域づくりリーダー研修会】

日時 11月18日(火) 午後6時30分～8時15分

場所 シビックセンターホール

◎基調講演

「地震に備えて ～地域防災のすすめ～」

講師 岩手大学工学部 建設環境工学科

准教授 山本 英和 氏

◎事例発表

「自らのまちは自ら守る」

二戸地区広域行政事務組合 消防本部

消防課課長 栗野 茂 氏

入場料 無料・定員 110人

どなたでも参加できます。多くの皆さまのご来場をお待ちしています。

この欄の問い合わせは、市地域づくり推進課（内線 653）まで